



リモート接続先プロファイル

この章では、リモート接続先プロファイル (RDP) について、Cisco Unified Communications Manager Administration によって個々の更新を実行するのではなく、[一括管理 (Bulk Administration)]メニューを使用して一括で形式設定、挿入、削除、およびエクスポートする方法について説明します。

- [リモート接続先プロファイルテンプレート \(1 ページ\)](#)
- [リモート接続先プロファイルのファイル形式 \(7 ページ\)](#)
- [リモート接続先プロファイルの挿入 \(13 ページ\)](#)
- [リモート接続先プロファイルの削除 \(14 ページ\)](#)
- [エクスポートユーティリティを使用したリモート接続先プロファイルのエクスポート \(16 ページ\)](#)

リモート接続先プロファイルテンプレート

BAT リモート接続先プロファイルテンプレートを使用して、デバイス プール、場所、コーリング サーチ スペース、プレゼンス グループ、およびプライバシー情報などのリモート接続先の共通属性を定義できます。

関連トピック

- [リモート接続先プロファイルテンプレートでの回線の追加または更新 \(3 ページ\)](#)
- [リモート接続先プロファイルテンプレートの作成 \(3 ページ\)](#)
- [リモート接続先プロファイルテンプレートの削除 \(4 ページ\)](#)
- [リモート接続先プロファイルテンプレートの検索 \(1 ページ\)](#)

リモート接続先プロファイルテンプレートの検索

複数のリモート接続先プロファイル (RDP) テンプレートが存在することがあるため、Cisco Unified Communications Manager では特定の基準に基づいて特定のテンプレートを検索できません。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルテンプレート (Remote Destination Profile Template)] の順に選択します。

[リモート接続先テンプレートの検索/一覧表示 (Find and List Remote Destination Templates)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用してテンプレートを検索します。

ステップ 2 最初の [UDP テンプレートの検索 (Find UDP Templates where)] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- 名前
- 説明
- [デバイス プール (Device Pool)]
- コーリング サーチ スペース

2番目の [リモート接続先テンプレートの検索 (Find Remote Destination Template where)] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- ~が次の文字列で終わる
- 次の文字列と完全に一致する
- 空である
- ~が空ではない

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。

ヒント データベースに登録されているすべてのリモート接続先テンプレートを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

検出されたテンプレートのリストが次の分類で表示されます。

- テンプレート名 (Template Name)
- 説明
- [デバイス プール (Device Pool)]
- コーリング サーチ スペース

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するテンプレート名をクリックします。

[リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

リモート接続先プロファイル テンプレートの作成

テンプレートを作成し、リモート接続先プロファイルを一括して追加できます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイル テンプレート (Remote Destination Profile Template)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
[リモート接続先テンプレートの設定 (Remote Destination Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** 表示されるフィールドに、設定の詳細情報を入力します。
フィールドの説明については、「[リモート接続先プロファイルテンプレートのフィールドの説明 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

ステータスにトランザクションが完了したことが示されたら、回線の属性を追加できます。

リモート接続先プロファイルテンプレートでの回線の追加または更新

BAT テンプレートに 1 つ以上の回線を追加したり、既存の回線を更新したりできます。

手順

- ステップ 1** 回線を追加する RDP テンプレートを見つけます。
- ステップ 2** [リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウで、[関連情報 (Associated Information)] 領域にある [回線[1]-新規 DNの追加 (Line [1] Add a new DN)] をクリックします。
- ステップ 3** 「[表 1](#)」で説明されている回線設定の適切な値を入力または選択し、[保存 (Save)] をクリックします。

BATによって、回線が電話テンプレートの設定に追加されます。このバッチ内のすべてのRDPは、この回線に選択した設定を使用します。

(注) 適切な値を入力または選択したら、このページに戻って手順を完了する必要があります。
- ステップ 4** 他の回線の設定を追加するには、[ステップ 2 \(3 ページ\)](#) から [ステップ 3 \(3 ページ\)](#) を繰り返します。

- (注) [回線テンプレートの設定 (Line Template Configuration)] ウィンドウの右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストボックスから [検索/一覧表示に戻る (Back to Find/List)] を選択すると、[電話番号の検索/一覧表示 (Find and List Directory Number)] ウィンドウが表示されます。既存の回線テンプレートを検索するには、適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。新規回線テンプレートを追加するには、[回線テンプレートの検索/一覧表示 (Find and List Line Template)] ウィンドウにある [新規追加 (Add New)] をクリックします。

シスコでは、回線テンプレートに英数字を使用することを推奨します。数字のみを指定した場合、実際の電話番号と競合してしまう可能性があるためです。この方法を使用することにより、コールピックアップグループ番号やコールパーク番号などの機能とも競合せずに済みます。

関連トピック

[リモート接続先プロファイルテンプレートの検索](#) (1 ページ)

リモート接続先プロファイルテンプレートの削除

不要になった RDP テンプレートを削除できます。

手順

- ステップ 1** 削除する RDP テンプレートを検索します。
 - ステップ 2** [リモート接続先プロファイルテンプレートの検索/一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウで、削除するテンプレートの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
削除操作の確認を求めるメッセージが表示されます。
 - ステップ 3** テンプレートを削除するには、[OK] をクリックします。[リモート接続先プロファイルテンプレートの検索/一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウのテンプレートリストからテンプレート名が消去されます。
- 注意** 特定の RDP テンプレートを使用するジョブを送信した場合、そのテンプレートを削除すると、そのジョブも削除されます。

関連トピック

[リモート接続先プロファイルテンプレートの検索](#) (1 ページ)

リモート接続先プロファイルテンプレートのフィールドの説明

次の表で、リモート接続先プロファイルテンプレートのフィールドについて説明します。



- (注) BAT ユーザ インターフェイスで名前にアスタリスクが付いているフィールドには、必ず値を入力する必要があります。アスタリスクが付いていないフィールドはオプションとして扱ってください。

表 1: リモート接続先プロファイル テンプレートのフィールドの説明

| フィールド | 説明 |
|---|---|
| テンプレート名 | テンプレート名を入力します。 |
| 説明 | 作成する RDP テンプレートの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>) は使用できません。 |
| [ユーザ ID (User ID)] | Cisco Unified Communications Manager ユーザ ID を入力します。 |
| [デバイス プール (Device Pool)] | この RDP グループのデバイス プールを選択します。 |
| [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)] | この RDP グループのコーリング サーチ スペースを選択します。 コーリング サーチ スペースは、ダイヤルされた番号のルーティング方法を決定するために検索されるルートパーティションのコレクションを指定します。 |
| [メディア リソース リスト (Media Resource List)] | この RDP グループのメディア リソース グループ リスト (MRGL) を選択します。 MRGL は、メディア リソース グループの優先順位付けされたリストを指定します。アプリケーションは、使用可能なメディア リソースの中から MRGL で定義されている順に、必要なメディア リソースを選択できます。 |
| [ユーザ 保留音のソース (User Hold Audio Source)] | この RDP グループのユーザ 保留音源を選択します。 ユーザ 保留音源は、ユーザがコールを保留にすると再生される保留音の音源を指定します。 |
| [ネットワーク 保留 MOH 音源 (Network Hold MOH Audio Source)] | ユーザがコールを転送する際、または電話会議やコールパークを開始する際にシステムがコールを保留にすると再生される保留音の音源を選択します。 |

| フィールド | 説明 |
|--------------------------------|--|
| [所在地 (Location)] | <p>この RDP グループに適切なロケーションを選択します。</p> <p>ロケーションは、このロケーションに対して送受信可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションを [なし (None)] に設定した場合、ロケーション機能はこのデバイスが消費する帯域幅を追跡しません。</p> |
| ユーザ ロケール (User Locale) | <p>ドロップダウンリストボックスから、電話機のユーザーインターフェイスに関連付けるロケールを選択します。ユーザ ロケールは、言語とフォントを含め、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、ローカリゼーションをサポートしている電話機モデルに対してのみこのフィールドを有効にします。</p> <p>(注) ユーザー ロケールを指定しない場合、Cisco Unified Communications Manager では、デバイスプールに関連付けられているユーザー ロケールを使用します。</p> <p>(注) ユーザが英語以外の言語で (電話機に) 情報を表示する必要がある場合は、ユーザ ロケールを設定する前に、ロケールインストーラがインストールされていることを確認してください。Cisco Unified Communications Manager ロケールインストーラの資料を参照してください。</p> |
| [プライバシー (Privacy)] | [プライバシー (Privacy)] ドロップダウンリストボックスから、[オン (On)]、[オフ (Off)]、または [デフォルト (Default)] を選択します。 |
| [プレゼンス グループ (Presence Group)] | <p>プレゼンス エンティティのステータスを RDP が受信できるようにするには、電話番号に適用されるプレゼンスグループのステータスの閲覧が許可されているプレゼンスグループ ([Presence Group Configuration (プレゼンスグループの設定)] ウィンドウで指定されています) を選択します。</p> |

| フィールド | 説明 |
|--|---|
| [再ルーティング用コーリング検索スペース (Rerouting Calling Search Space)] | <p>ドロップダウン リスト ボックスから、再ルーティングに使用するコーリング 検索 スペースを選択します。</p> <p>参照元の再ルーティング コーリング検索 スペースを使用して、参照先へのルートが検索されます。コーリング 検索 スペースの再ルーティングが原因で参照操作が失敗すると、参照のプリミティブは「405 Method Not Allowed」 メッセージで要求を拒否します。</p> <p>リダイレクト (3xx) プリミティブおよび転送機能も再ルーティング コーリング 検索 スペースを使用してリダイレクト先または転送先を検索します。</p> |
| [プレゼンテーションインジケータを無視 (内線コールのみ) (Ignore Presentation Indicators (internal calls only))] | <p>このチェックボックスをオンにすると、Cisco Unified Communications Manager は内部コールに対して受信したすべての表示制限を無視します。</p> |

リモート接続先プロフィールのファイル形式

テキストエディタを使用して作成された CSV データ ファイルのファイル形式を設定することができます。

関連トピック

[リモート接続先ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け](#) (12 ページ)

[リモート接続先プロフィールのファイル形式の設定](#) (9 ページ)

[リモート接続先プロフィール用のテキストベースの CSV ファイルの作成](#)

[テキストエディタを使用したリモート接続先用 CSV データ ファイルの作成](#) (7 ページ)

[リモート接続先ファイル形式の検索](#) (8 ページ)

テキストエディタを使用したリモート接続先用 CSV データ ファイルの作成

値をカンマで区切った ASCII テキストの行を使用して、CSV データ ファイルを作成できます。カンマ区切り値 (CSV) ファイルは、表形式のテキスト情報を提供します。

デフォルトのリモート接続先のファイル形式を変更したり削除したりすることはできません。



- (注) Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) スプレッドシートを使用して CSV データファイルを作成するときには、スプレッドシート内でファイル形式を作成できます。テキストエディタを使用して CSV データファイルを作成する場合は、ファイル形式を作成するか、デフォルトファイル形式を使用する必要があります。テキストベースのファイルでは、ファイル形式で指定されているのと同じ順序で値を入力します。

関連トピック

[リモート接続先プロファイル用のテキストベースの CSV ファイルの作成](#)

リモート接続先ファイル形式の検索

BAT を使用して、リモート接続先ファイル形式を検索できます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] の順に選択します。

[リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストボックスから、[検索/リストに戻る (Back to Find/List)] を選択し、[実行 (Go)] をクリックします。

ステップ 3 [形式名によるリモート接続先ファイル形式の検索 (Find Remote Destination File Format where Format Name)] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- ~が次の文字列で終わる
- 次の文字列と完全に一致する
- 空である
- ~が空ではない

ステップ 4 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索 (Find)] をクリックします。

ヒント すべてのリモート接続先プロファイル形式を検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 5 さらにクエリを定義して複数のフィルタを追加するには、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンボックスから [AND] または [OR] を選択し、[ステップ 3 \(8 ページ\)](#) と [ステップ 4 \(8 ページ\)](#) を繰り返します。

ステップ 6 レコードのリストから、検索条件と一致するファイル形式名をクリックします。

[リモート接続先ファイル形式の設定 (Remote Destination File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

リモート接続先プロフィールのファイル形式の設定

BATを使用して、リモート接続先プロフィールのファイル形式を作成、検索、コピー、変更、または削除できます。

関連トピック

[リモート接続先プロフィールのファイル形式の作成 \(9 ページ\)](#)

[リモート接続先プロフィールのファイル形式のコピー \(10 ページ\)](#)

[リモート接続先プロフィールのファイル形式の変更 \(11 ページ\)](#)

[リモート接続先プロフィールのファイル形式の削除 \(12 ページ\)](#)

リモート接続先プロフィールのファイル形式の作成

テキストベースの CSV データ ファイル用のファイル形式を作成できます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロフィール (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロフィールのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] の順に選択します。

[リモート接続先プロフィール ファイル形式の設定 (Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [形式名 (Format Name)] フィールドに、このカスタム形式の名前を入力します。

ステップ 3 [デバイスフィールド (Device Fields)] で、リモート接続先プロフィールごとに定義するデバイスフィールド名を選択します。[デバイスフィールド (Device Field)] ボックスで、デバイスフィールド名をクリックし、矢印をクリックしてそのフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] ボックスに移動します。

CSV データ ファイルには、[デバイスプロフィール名 (Device Profile Name)] と [説明 (Description)] が含まれている必要があります。そのため、これらのフィールドは常に選択されたままになります。

ヒント リストでランダムに複数のフィールド名を選択するには、**Ctrl** キーを押したまま、矢印をクリックしてそれらをまとめて選択します。アイテムの範囲を選択するには、**Shift** キーを使用します。

ステップ 4 [回線フィールド (Line Field)] ボックスで回線フィールド名をクリックしてから、矢印をクリックしてそのフィールドを [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスに移動します。

ヒント [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスと [選択済みのデバイスフィールド順序 (Selected Device Fields Order)] ボックス内のアイテムの順序を変更できます。アイテムを選択してから上矢印を使用してアイテムをリストの上位に移動するか、下矢印を使用してアイテムをリストの下位に移動します。

ステップ 5 [IP 電話サービスの最大数 (IP Phone Services Maximums)] 領域で、[回線の最大数 (Maximum Number of Lines)] フィールドに最大値を入力します。

ステップ 6 カスタム ファイル形式を保存するには、[保存 (Save)] をクリックします。[リモート接続先プロファイルファイル形式の検索/一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile File Formats)] ウィンドウの [ファイル形式名 (File Format Names)] リストに、ファイル形式の名前が表示されます。

リモート接続先プロファイルのファイル形式のコピー

BAT を使用して CSV データ ファイルの既存の形式をコピーできます。

手順

ステップ 1 コピーするリモート接続先プロファイル ファイル形式を検索します。

ステップ 2 [検索結果 (Search Results)] 領域で、コピーするファイル形式を選択します。
[リモート接続先プロファイルファイル形式の設定 (Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 選択したファイル形式のコピーを作成するには、[コピー (Copy)] をクリックします。

(注) [リモート接続先プロファイルファイル形式の検索/一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile File Formats)] ウィンドウで対応する [コピー (Copy)] アイコンをクリックすることによっても、ファイル形式をコピーできます。

ステップ 4 [形式名 (Format Name)] フィールドに、コピーする形式の新しい名前を入力します。

ステップ 5 次のいずれかの方法でコピーした形式を変更します。

- 新しいフィールドを追加するには、[デバイスフィールド (Device Fields)] または [回線フィールド (Line Fields)] ボックスで新たなフィールドを選択してから、矢印をクリックして選択したフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスに移動します。
- 選択したフィールドを削除するには、[選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスでフィールドを選択してから、矢印をクリックして選択したフィールドを [デバイスフィールド (Device Fields)] または [回線フィールド (Line Fields)] ボックスに移動します。

- フィールドの順序を変更するには、[選択済みのデバイス フィールド (Selected Device Field)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスでフィールド名を選択して、上矢印または下矢印を使用してその位置を変更します。

ステップ 6 変更が終了したら、[保存 (Save)] をクリックして、リスト内の変更と一緒にコピーしたファイル形式を保存します。

関連トピック

[リモート接続先ファイル形式の検索](#) (8 ページ)

リモート接続先プロフィールのファイル形式の変更

BAT を使用して、CSV データ ファイルの既存のファイル形式を変更できます。変更できるのはカスタム形式だけです。

手順

ステップ 1 変更するリモート接続先プロフィールのファイル形式を検索します。

ステップ 2 [検索結果 (Search Results)] 領域で、変更するファイル形式を選択します。
[リモート接続先プロフィールファイル形式の設定 (Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 次のいずれかの方法を使用して、コピーした形式を変更します。

- 新しいフィールドを追加するには、[デバイスフィールド (Device Fields)] または [回線フィールド (Line Fields)] ボックスで新たなフィールドを選択してから、矢印をクリックして選択したフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスに移動します。
- 選択したフィールドを削除するには、[選択済みのデバイス フィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスでそれを選択し、矢印をクリックすると、選択したフィールドが [デバイスフィールド (Device Fields)] または [回線フィールド (Line Fields)] ボックスに移動します。
(注) 必須フィールドである [リモート接続先プロフィール名 (Remote Destination Profile Name)] と [説明 (Description)] は削除できません。
- フィールドの順序を変更するには、[選択済みのデバイスフィールド順序 (Selected Device Field Order)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスでフィールド名を選択し、上矢印または下矢印を使ってその位置を変更します。

ステップ 4 変更が終了したら、[保存 (Save)] をクリックしてファイル形式の変更内容を保存します。

関連トピック

[リモート接続先ファイル形式の検索](#) (8 ページ)

リモート接続先プロファイルのファイル形式の削除

CSV データ ファイル用の既存のファイル形式を削除できます。削除できるのはカスタム形式だけです。

手順

- ステップ 1** 削除するリモート接続先プロファイル ファイル形式を検索します。
- ステップ 2** [検索結果 (Search Results)] 領域で、それが削除対象のファイルであることを確認し、そのチェックボックスをオンにして形式を選択します。
- ステップ 3** リストからファイル形式を削除するには、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。ファイル形式の削除の確認を求めるメッセージが表示されます。[OK] をクリックして続行します。

注目 [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックする前に、表示された結果リストの全体を必ず確認してください。

リストからファイル形式の名前が削除されます。

関連トピック

[リモート接続先ファイル形式の検索 \(8 ページ\)](#)

リモート接続先ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け

テキストベースの CSV データ ファイルとファイル形式を関連付けることができます。テキストエディタを使用して CSV データファイルを作成した際に、テキストベースのファイルに値を入力するため、ファイル形式を作成しました。ファイル形式によって指定された順序でテキストファイルに値を入力しました。

CSV データファイルに入力した後、ファイル形式をテキストベースの CSV データファイルと関連付ける必要があります。ファイル形式を CSV ファイルと関連付けると、各フィールドの名前は CSV データファイルの最初のレコードとして表示されます。この情報を使用して、正しい順序で各フィールドに値を入力したことを確認できます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の追加 (Add File Format)] の順に選択します。
[ファイル形式の追加 (Add File Format)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (FileName)] フィールドで、このトランザクション用に作成したテキストベースの CSV ファイルを選択します。

- ステップ 3** [ファイル形式名 (File Format Name)] フィールドで、このタイプの一括トランザクション用に作成したファイル形式を選択します。
- ステップ 4** 一致するファイル形式を CSV データファイルと関連付けるジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 5** [一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

リモート接続先プロファイルの挿入

[一括管理 (Bulk Administration)] メニューを使用することで、Cisco Unified Communications Manager Administration を使用して個々のリモート接続先プロファイル (RDP) を更新する代わりに、RDP を一括で挿入できます。

Cisco Unified Communications Manager でのリモート接続先プロファイルの挿入

リモート接続先プロファイルを Cisco Unified Communications Manager に挿入できます。

始める前に

- 追加するデバイス用の Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) リモート接続先プロファイル テンプレートが必要です。
- リモート接続先プロファイル固有の詳細情報を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータファイルが必要です。
- トランザクションに関わるターゲットと機能に絞り込み、データファイルをアップロードします。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルの挿入 (Remote Destination Profile Insert)] の順に選択します。
[リモート接続先プロファイルの挿入 (Insert Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウンリストボックスで、この特定の一括トランザクション用に作成した CSV データファイルを選択します。

ステップ 3 [リモート接続先プロファイルテンプレート名 (Remote Destination Profile Template Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、このタイプの一括トランザクション用に作成した BAT リモート接続先プロファイルテンプレートを選択します。

(注) リモート接続先プロファイルを挿入するとき、リモート接続先プロファイルテンプレートを使用するかどうかは任意選択です。リモート接続先プロファイルテンプレートを選択しない場合は、CSV データ ファイルに「デスク電話機名 (Desk Phone Name)」が含まれていることを確認してください。

ステップ 4 [既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにすると、既存のリモート接続先プロファイル設定が、挿入するファイルに含まれる情報によって上書きされます。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 挿入方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐにリモート接続先プロファイル レコードを挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) 後でリモート接続先プロファイル レコードを挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 7 リモート接続先プロファイルレコードを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

ステップ 8 ゲートウェイを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュール追加またはアクティブ化します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

リモート接続先プロファイルの削除

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] を使用して個々のリモート接続先プロファイル (RDP) を更新する代わりに [一括管理 (Bulk Administration)] メニューを使用することで、RDP を一括で削除およびエクスポートできます。

カスタム ファイルを使用したリモート接続先プロファイルの削除

テキスト エディタを使用して、削除するリモート接続先プロファイルのカスタム ファイルを作成します。同じカスタムファイル内に MAC アドレスとデバイス名を含めることはできませんが、その同じファイルに電話番号を含めることはできません。別々のファイル (デバイス名と MAC アドレスを含む 1 つのファイル、および電話番号を含むもう 1 つのファイル) を作成する必要があります。

始める前に

1. 削除対象の RDP に関する次のいずれかの詳細情報を列挙したテキスト ファイルを作成します。
 - 名前
 - 説明
 - [デバイス プール (Device Pool)]
 - [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)]
2. 各アイテムをテキスト ファイル内の別々の行に配置します。
3. カスタムファイルを CiscoUnifiedCallManager サーバーにアップロードします。ファイルのアップロードの詳細については、「[サーバへのファイルのアップロード](#)」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)]>[モビリティ (Mobility)]>[リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]>[リモート接続先プロファイルの削除 (Remote Destination Profile Delete)]の順に選択します。
[リモート接続先プロファイルの削除 (Delete Remote Destination Profile Configuration)]ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [リモート接続先プロファイルの削除 (Delete Remote Destination Profile where)] ドロップダウンリスト ボックスで、次のいずれかの条件から作成済みのカスタム ファイルのタイプを選択します。
- 名前
 - 説明
 - [デバイス プール (Device Pool)]
 - [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)]
- ステップ 3** カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。
- ステップ 4** [検索 (Find)]をクリックします。検索条件と一致する RDP のリストが表示されます。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)]領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** 削除方法を選択します。次のいずれかを実行します。
- a) すぐに RDP レコードを削除する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)]をクリックします。
 - b) 後で RDP レコードを削除する場合は、[後で実行 (Run Later)]をクリックします。
- ステップ 7** RDP レコードを削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)]をクリックします。
- ステップ 8** ゲートウェイを挿入するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)]をクリックします。

[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュール追加またはアクティブ化します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

エクスポートユーティリティを使用したリモート接続先プロファイルのエクスポート

エクスポートユーティリティを使用して、複数の Cisco Unified CallManager サーバーから 1 台の Cisco Unified CallManager サーバー上にレコードをマージすることができます。この手順を使用して、ある Cisco Unified CallManager サーバーから別の Cisco Unified CallManager サーバーにレコードを移動します。

エクスポートユーティリティを使用したリモート接続先プロファイルのエクスポート

リモート接続先プロファイルの詳細をエクスポートできます。



(注) エクスポートするリモート接続先を選択した後に 2 番目の [リモート接続先プロファイルのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウからヘルプにアクセスしている場合は、[ステップ 7 \(17 ページ\)](#) に進みます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルのエクスポート (Remote Destination Profile Export)] の順に選択します。
- [リモート接続先プロファイルのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の [リモート接続先プロファイルの検索 (Find Remote Destination Profile)] ドロップダウンリストから、次の条件のいずれかを選択します。
- 名前
 - 説明
 - [デバイス プール (Device Pool)]

- [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)]

2番目の[リモート接続先プロフィールの検索 (Find Remote Destination Profile where)] ドロップダウンリストから、次の条件のいずれかを選択します。

- ~で始まる
- ~を含む
- ~が次の文字列で終わる
- 次の文字列と完全に一致する
- 空である
- ~が空ではない

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

ヒント データベースに登録されているすべてのリモート接続先プロフィールを検索するには、検索テキストを何も入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 4 さらにクエリを定義して複数のフィルタを追加するには、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから [AND] または [OR] を選択し、[ステップ 2 \(16 ページ\)](#) と [ステップ 3 \(17 ページ\)](#) を繰り返します。

ステップ 5 [検索 (Find)] をクリックします。

検出されたリモート接続先プロフィールのリストが次の分類で表示されます。

- 名前
- 説明
- [デバイス プール (Device Pool)]
- [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)]

(注) ジョブを送信する前に、表示された結果のリスト全体を参照してください。

ステップ 6 [次へ (Next)] をクリックします。

次の[リモート接続先プロフィールのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 [ファイル名 (File Name)] フィールドに、エクスポート ファイルの名前を入力します。

ステップ 8 [ファイル形式名 (File Format Name)] ドロップダウンリストからファイル形式を選択します。

ステップ 9 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。[リモート接続先プロフィールの削除 (Delete Remote Destination Profiles)] がデフォルトの説明です。

ステップ 10 エクスポート方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐにリモート接続先プロフィールレコードをエクスポートする場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。

- b) 後でリモート接続先プロファイル レコードをエクスポートする場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 11 リモート接続先プロファイルレコードを削除するためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

ステップ 12 このジョブをスケジュールするか、アクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

デフォルトのリモート接続先プロファイル ファイル形式

デフォルトのリモート接続先プロファイルファイル形式オプションを使用してリモート接続先プロファイルのレコードをエクスポートすると、リモート接続先プロファイルのレコードと、そのリモート接続先プロファイルに関連付けられている各種回線属性がエクスポートされます。クエリを使用してレコード数を制限することはできません。

次の表に、[デフォルトのリモート接続先プロファイル形式 (Default Remote Destination Profile Format)] ファイル形式を選択した場合にエクスポートされるフィールドの一覧を示します。

表 2: [デフォルトのリモート接続先プロファイル (Default Remote Destination Profile)] ファイル形式でエクスポートされるフィールド

| フィールドタイプ | エクスポートされたフィールド |
|-----------|---|
| デバイスフィールド | [リモート接続先プロファイル名 (Remote Destination Profile Name)]、[説明 (Description)]、[ユーザID (User ID)]、[デバイスプール (Device Pool)]、[CSS]、[AAR CSS]、[メディアリソースリスト (Media Resource List)]、[ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)]、[ロケーション (Location)]、[プライバシー (Privacy)]、[デバイスプレゼンスグループ (Device Presence Group)]、[再ルーティング CSS (Rerouting CSS)] |

| フィールドタイプ | エクスポートされたフィールド |
|----------|--|
| 回線フィールド | <p>[電話番号 (Directory Number)]、[パーティション (Partition)]、[ボイスメールプロフィール (Voice Mail Profile)]、[回線 CSS (Line CSS)]、[AAR グループ (回線) (AAR Group(Line))]、[回線ユーザ保留音源 (Line User Hold Audio Source)]、[回線ネットワーク保留音源 (Line Network Hold Audio Source)]、[不在転送の接続先 (Forward All Destination)]、[不在転送 CSS (Forward All CSS)]、[話中転送の接続先 (内部) (Forward Busy Internal Destination)]、[話中転送 (内部) CSS (Forward Busy Internal CSS)]、[話中転送の接続先 (外部) (Forward Busy External Destination)]、[話中転送 (外部) CSS (Forward Busy External CSS)]、[無応答時転送の接続先 (内部) (Forward No Answer Internal Destination)]、[無応答時転送 (内部) CSS (Forward No Answer Internal CSS)]、[無応答時転送の接続先 (外部) (Forward No Answer External Destination)]、[無応答時転送 (外部) CSS (Forward No Answer External CSS)]、[無カバレッジ時転送の接続先 (内部) (Forward No Coverage Internal Destination)]、[無カバレッジ時転送 (内部) CSS (Forward No Coverage Internal CSS)]、[無カバレッジ時転送の接続先 (外部) (Forward No Coverage External Destination)]、[無カバレッジ時転送 (外部) CSS (Forward No Coverage External CSS)]、[無応答時転送の呼び出し時間 (Forward No Answer Ring Duration)]、[コールピックアップグループ (Call Pickup Group)]、[MLPP ターゲット (MLPP Target)]、[MLPP CSS]、[MLPP 無応答時の呼び出し時間 (MLPP No Answer Ring Duration)]、[外線電話番号マスク (External Phone Number Mask)]、[コール最大数 (Maximum Number Of Calls)]、[話中トリガー (Busy Trigger)]、[呼び出し表示 (Alerting Name)]、[ASCII 呼び出し表示 (Alerting Name ASCII)]、[表示 (Display)]、[回線の説明 (Line Description)]、[回線プレゼンスグループ (Line Presence Group)]、[不在転送のセカンダリ CSS (Secondary CSS For Forward All)]、[ASCII 表示 (ASCII Display)]、[CTI 障害時転送 - 接続先 (Forward On CTI Failure Destination)]、[CTI 障害時転送 CSS (Forward On CTI Failure CSS)]、[AAR 接続先マスク (AAR Destination Mask)]、[未登録内線の不在転送 - 接続先 (Forward Unregistered Internal Destination)]、[未登録内線の不在転送 CSS (Forward Unregistered Internal CSS)]、[未登録外線の不在転送 - 接続先 (Forward Unregistered External Destination)]、[未登録外線の不在転送 CSS (Forward Unregistered External CSS)]、[保留復帰の呼び出し時間 (Hold Reversion Ring Duration)]、[保留復帰の通知間隔 (Hold Reversion Notification Interval)]</p> |

デフォルトのリモート接続先プロファイル ファイル形式

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。